

2018年7月17日

民事再生案 – 概要

Mt Gox Legalからの提案

(この文書は下記文書の日本語訳としての参考です。)

<https://www.mtgoxlegal.com/wp-content/uploads/2018/07/CR-plan-outline-July-17.pdf>

背景

Mt Gox Legalは1000人ほどのMt Goxの債権者からなる団体です。2017年の9月に、破産法は、余剰分の資産を債権者ではなく、株主に分配すると定められているというニュースに対して発足されました。我々は、森・濱田松本法律事務所からの協力を得て、裁判所および、審査員がMt Goxの民事再生の開始を認可させるという影響を与えるに至りました。

この文書は、我々が、現時点で妥当だと思う民事再生の計画の条件を提示しています。これは、民事再生法第163条(2)に則った公式の再生案ではありません。

この文書はMt Gox Legalのメンバーがオンライン上での討論、投票を元にまとめたもので、我々の総意を示すものです。Mt Gox Legalのメンバーの債権額は、1BTC未満から、1000BTC以上まであります。そのため、この計画条件はMt Gox債権者全体の意図を示していると思われる。

1/ 現金債権

裁判所が選任した伊藤審査員の推薦により、我々は、現金債権は破産時と同等の額が支払われることに同意します。これは、法的に適当である範囲で、利息分の金額も含まれます。

2/ ビットコイン債権

管財人が管理する資産の規模と、現金債権の予想される規模をみると、現金債権が支払われた後に残る資産は、現金および、複数の仮想通貨になると思われます。残りの、現金、及び、ビットコインとビットコイン・キャッシュはビットコイン債権の割合に応じて分配されます。

民事再生計画の中では、これ以上のビットコインの売却及び、購入は行われるべきではありません。

3/ 株主に対する利益

株主、具体的に、Jed McCaleb, Tibanne及び、Mark Karpelesに対しては、なんらの物品、現金、および仮想通貨の分配がなされるべきではありません。

2018年7月17日

4/ アルトコインのフォークおよび、エアドロップ

2014年より、Mt Goxのビットコインは管財人の管理下にありましたが、それらのビットコインの秘密鍵には、それ以外のアルトコインのフォークおよび、エアドロップが付与されていきました。ビットコイン・キャッシュはその内の一つで、それに関する分配は、上記の通りです。

現状では、どの取引所でも、これらの全てを扱えるところがありません。同様に、ウォレットソフトウェアに関しても、これらを全て安全に扱えるソフトも存在していません。我々は、これらを全て債権者に配布するということは、分配の流れを複雑化し、多くの債権者に混乱をきたし、これらの資産の価値を下げるという、債権者にとっては喜ばしくない結果を起こす可能性もあります。

管財人が保持するこれらのコインの量は、ほとんどの場合で、世界全体で取引されている総量よりかなり多いと見られるため、管財人によるこれらのコインの大量な売却は、値段が下がる傾向に陥る事と、債権者たちの利益にも反するため、懸念しています。

また、これらのコインにアクセスするには、非常に多くの額のビットコインを管理する秘密鍵を利用する必要があり、アルトコインのフォークの扱いには、セキュリティ上の懸念があります。

以上の点を踏まえて、我々は、管財人が、全てのビットコイン、およびビットコイン・キャッシュを安全な場所へ移動した後、それ以外のアルトコインにアクセスできるこの秘密鍵をオークション形式で売却すべきと思っています。

参考までに、以下の表は我々が内部的に調査した、価値のあるアルトコインの市場価値です。この表は、1日の取引量に対する、管財人が管理するコイン数も表しています。

トークン	価値 (米ドル)	1日のトレード総量に対する割合
BitcoinX (BCX)	\$21,656,354	851%
Bitcoin Gold (BTG)	\$5,984,262	53%
Bitcoin Diamond (BCD)	\$4,084,829	151%
Lightning Bitcoin (LBTC)	\$2,015,090	219%
Bitcoin Private	\$1,635,969	617%
Super Bitcoin (SBTC)	\$1,022,562	82%
Clams (CLAM)	\$529,424	7028%
Bitcoin Interest	\$373,537	3010%
Bitcore (BTX)	\$161,241	45%
Bitcoin Atom	\$80,521	326%
合計	\$37,543,789	

この一覧は、完全ではありません。2018年7月中旬時点で、最も価値のある10個のコインを並べています。分配時には、価値や順番が変わっている可能性があります。

2018年7月17日

5/ 混合債権

ビットコインおよび、現金の両方の持つ個人は、ビットコインと現金をそれぞれ上記で示した別々の扱いとして、受けるべきである。

6/ 配布時期

我々は早期の配分が、民事再生案にて、重要な点だと思っています。我々は最速で可能な時点での中間配当を行う民事再生案のみを支持していくことができます。もし、異議が唱えられれば、最悪のケースを想定した分の資産を分別しておき、それ以外の認められた債権に関しては、残りの資産で中間配当として精算すべきである。各異議が解決されるにつれ、残った分の資産に関しては、即座に遅延なく分配されるべきである。

7/ 配布方法

現金

債権者には、現金を直接銀行に振り込み、もしくは、取引所に送金のどちらかを選べるようにしてもらいたいと考えています。

取引所で現金を受け取るということは、全債権者が同時に受け取れるということになり、また、ビットコインに投資をしたいと思う人は、すぐに行うこともできるという点があります。これは、ビットコイン配布後に一部の債権者による、大規模な売却に対する影響の緩和に役立つかもしれません。

仮想通貨

債権者には、取引所で、仮想通貨を受け取る、もしくは、債権者が指定する個人のウォレットのアドレスに送ってもらいたいと考えています。

取引所

取引所を介して分配するという事は、安価で、安全に全債権者に対して同時に行うことができます。

参考までに、Mt Gox Legal内で行われた、512名による投票では、Krakenが一番の気度で、80%が賛成していました。

取引所

	この取引所を介した分配は可能と答えた割合
Kraken	80.47%

2018年7月17日

Coinbase	40.82%
Bitstamp	34.38%
Binance	22.85%
GDax/Coinbase Pro	12.11%

Krakenはすでに、破産時の時に管財人との関係を築いており、公式見解として、そのことを民事再生時にも続けていくということを発表しています。この関係性が続いて行くことは、債権者にとって、良いことであると捉えられます。

上記の投票の結果は、管財人、我々の森・濱田松本弁護士事務所の弁護士、および、西村あさひ法律事務所の福岡弁護士に共有されています。これらは、support@mtgoxlegal.comにて要求することができます。

8/ 今後のコインの発見について

我々は、下記の通りに：

- アメリカでのAlexander Vinnikの起訴、Mt Goxのビットコインを盗み、洗浄した疑い、および、現在のギリシャでの収監
- アメリカの法的機関による、判明しているが未公開のVinnikの共謀者の追求
- そして、アメリカによるあらゆるVinnikおよび、共謀者に関する資産の没収もあり、将来的に実際にさらなる資産を取り戻せる可能性はあります。そのため、民事再生案にはこれらの資産を取り戻すための調査、および追求のための資金をそれらが行えるようになった時のために記載しておくべきと考えています。

9/ 取引履歴

いくつかの管轄内にいる債権者には、Mt Goxでの取引履歴を提示できるということは、納税義務が発生することになります。そのため、民事再生案内では、それらを迅速に債権者が請求できるようにしておくべきです。

10/ その他の考察

このレポートは、現時点で集められた情報によって、我々債権者にとって大事な前提条件、推奨、および要求が含まれています。今後、我々が情報をもっと得るにつれ、内容に変更や追加がされることがあります。

我々はこのレポートについて話し合いや曖昧な点を解消して行きたいと思っています。こちらから問い合わせることができます。

support@mtgoxlegal.com

Andy Pag
Co-ordinator
Mt Gox Legal